

DPC(医)どちペインクリニックの広報誌

玉ふれあい 穂だより

vol.07

2019 9月
秋号

目次 INDEX

- 2 一人ひとりの思いを大切に
～訪問看護サービス～
- 6 インフォメーション・トピックス
- 8 施設のご紹介



利用者 ご家族 の声

中央市 I様

発熱の原因が、おなかの中にばい菌があって、定期的にきれいにしないといけないため、訪問看護をお願いしました。

みなさんととても親切にかかわってくれるので、とても安心してあります。呼べばすぐに来てくれるので助かっています。

これからもよろしくお願いします。

市川三郷町 M様

訪問看護ステーションの方々には、いつも笑顔でやさしく接していただき、入浴時の世間話や体験談など、心和む話に癒されています。次の訪問看護には誰が来てくれるのか心待ちにしている今日この頃です。

私がこうして過ごしているのは、訪問看護ステーションの皆様と家族に支えられているからです。

南アルプス市 S様

「こんにちは。調子はどうですか？」笑顔で聞いかける訪問看護師さんとは一年以上のお付き合いになります。

4回の入院経験がある母にとって、在宅医療を願う思いはかなり強いものです。それには家族の不安もありました。そんな私たちの困っていることや希望に耳を傾け、気持ちに寄り添ってくれるのが訪問看護ステーションです。

今、心穏やかに生活が送れていることに、日々感謝しています。

中央市 T様

週3回の訪問看護と週1回のリハビリを受けています。

介護をされていて途方にくれたり、不安になることもあります。いろいろなアドバイスをもらったり、困りごとや日々の様子を気軽に話せるので、気晴らしや励みにもなります。

また、何かあれば夜間や休日でも対応してもらえるので安心できます。

玉穂訪問看護ステーション

私たちは「高齢者の方、病気や障害を持った方が住み慣れた地域で安心して療養生活を送れるように、一人ひとりの思いを大切に」「いま、利用者さんに必要なことは何かを考え、すぐに実行していく」また「利用者さんがその人らしく家族とともに生活できることを大切に」ことを実践しています。

そして、私たちは在宅での緩和ケアにも力を入れ「最期を住み慣れた家で迎えたい」という希望がかなえられるように訪問看護師の立場から支援していきます。



玉穂訪問看護ステーション

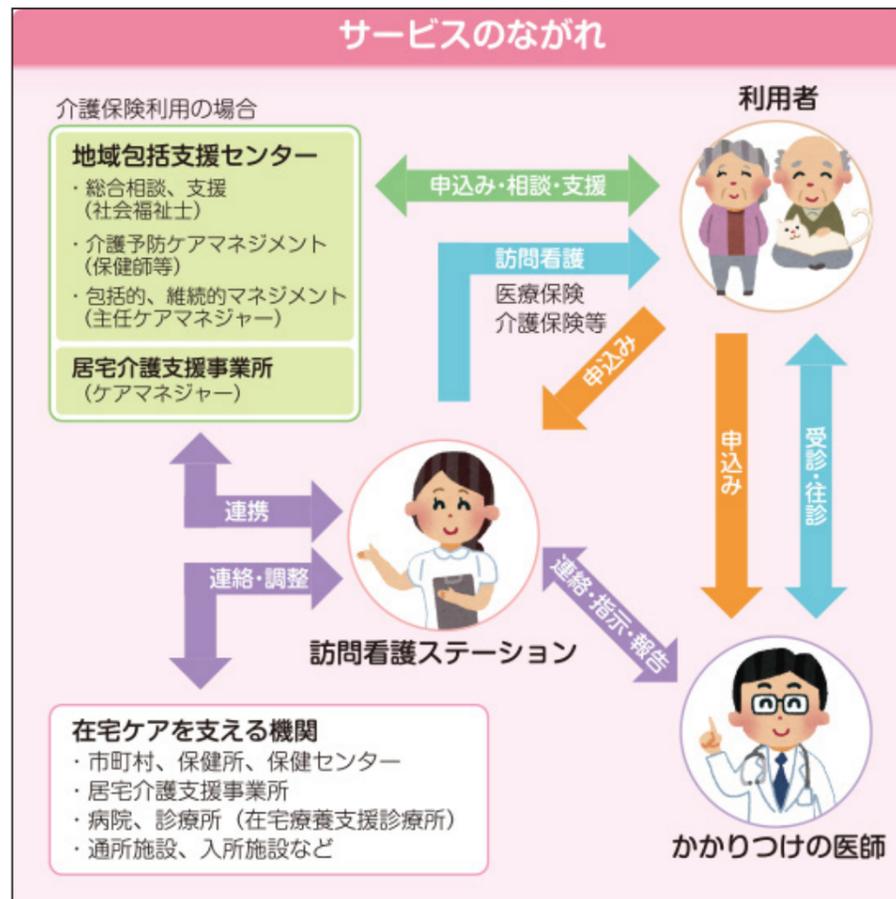
〒409-3815 中央市成島 2439-2
TEL055-240-3366 FAX055-240-3367

○利用できる日と時間

月曜日から金曜日 9:00 ~ 18:00
土曜日 9:00 ~ 12:00
☆緊急時には 24 時間、365 日対応可能



サービスのながれ



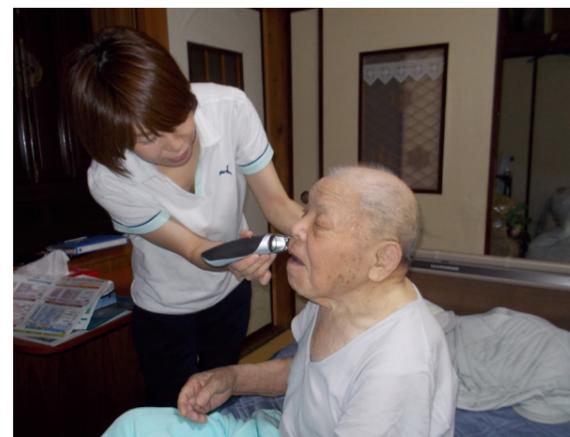
訪問看護を受けるには？

訪問看護は、病気や障がいをもちながら在宅療養する人が全て対象になります。
訪問看護を利用する方法としては
・地域包括支援センターやケアマネジャーに相談、依頼する

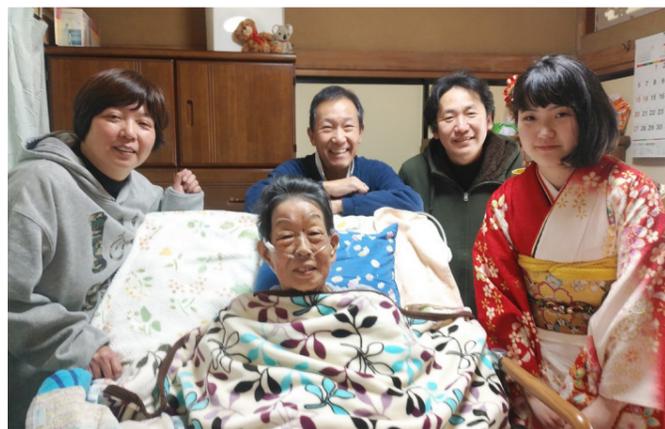
・かかりつけ医、または診療スタッフに相談する
・直接訪問看護ステーションに相談する
利用者さんの状態や思い、家族の気持ちや困っていることなどを伝えましょう。

悩まずに、まず相談

訪問看護は、利用者さんが可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、看護師が自宅に訪問して、その方の病気や障がいに応じた看護を行い、病気の悪化防止や、回復に向けてお手伝いします。
利用者さんとご家族が住み慣れた自宅で安心して毎日を過ごせるよう、医師と連携し、健康状態の管理・在宅療養のためのアドバイス・緊急時の対応・看取りなど、さまざまな支援をします。



ほかにも歯科医師・薬剤師・理学療法士・ケアマネジャー・その他の職種と連携し、利用者さんに合わせたサービスを提供していきます。
自宅での療養を考えた時には、ひとりで悩まずに、玉穂訪問看護ステーションまでご連絡をください。ご相談に応じます。
主治医やケアマネジャーと協力して、その方にとって一番良い在宅療養の方法を一緒に考えていきましょう。



トピックス

インフォメーション

みんなで一緒に習字大会

7月24日(水)



山梨大学看護学生の実習最終日、実習生が企画した習字大会を、患者さんご家族、職員を交えて行いました。

日頃から筆を持つことのないみなさんでしたが、実習生からの手ほどきを受けながら、楽しそうに好きな言葉を半紙に書き記しました。

仕上がった作品は病棟ラウンジに飾られました。

8月17日(土)

病棟で流しソーメン

診療所に入院されている患者さんを元気づけようと、流しソーメン大会が開かれました。

この日は朝から気温も上がり大変暑い日となりましたが、竹の流し台を流れる涼しげなソーメンに、患者さん、ご家族みんなで大いに盛り上がりました。

一緒に流れるミニトマトやブドウなどに、子どもたちは大喜び。

患者さんたちも笑顔で暑さを吹き飛ばしました。



ただの物忘れ それとも 認知症 あれ?と思ったら 早めに受診を

認知症の疑いがあった場合は、まずは早急に病院で検査を受けましょう。その症状がただの加齢による物忘れなのか、それとも本当に認知症なのかは医師の診断を受けなければ正確にはわかりません。

認知症でもっとも多いアルツハイマー型認知症の場合、その進行は比較的ゆるやかですが、完全な治療が難しいことから、できるだけ早期に発見して投薬などにより進行を遅らせる対策が必要です。



早期発見の重要性はわかっているけど、いざ受診するとなると本人は躊躇することもあります。特に、「認知症の検査に行きましょう」と言われたり、「認知症外来」や「精神神経科」という名前の診療科に行くのには抵抗を感じる人が多いようです。

かかりつけの医師に相談できるなら、ふだんの診察のついでに簡単な検査をお願いして、認知症専門のよい先生を紹介してもらうという方法があります。

身近な相手から誘われると行きにくいという場合は、離れて暮らす家族や知人、ヘルパーなど誘う人を変えると応じやすくなることもあります。

いずれにしても「ちょっと相談してみよう」「健康診断を受けてみましょう」と気軽な雰囲気です誘うのがいいようです。



当院は認知症のサポート医です。まずは受診してもらい、より詳細な検査が必要な場合は専門病院への橋渡しを行います。

(医) どちらペインクリニック 玉穂ふれあい診療所 ☎055-278-5670

編集後記

今年の夏も暑く、熱中症や脱水等が多くありました。また、台風による山崩れ、水難などの自然災害も多く「命を守るための行動を」と言う言葉を何回も聞き、考えさせられました。

今回は、在宅で療養している方々の支援をしている訪問看護について特集されています。台風が来ても、地震が来ても、訪問看護は必要とされる方々の所に訪問しています。そして「命を守るための行動を」に努めています。

みなさんも、「命を守るための行動」について考えてみてはいかがでしょうか。

表紙の写真

猛暑の夏が過ぎ、やっと秋らしい気配がしてきました。病棟の奥にある銀杏の木は、毎年鮮やかに色づきます。写真は去年のものですが、今年ももうすぐ黄金色に色づいた銀杏が、患者さんたちを楽しませてくれることでしょう。

施設案内

玉穂ふれあい診療所

〒409-3815 山梨県中央市成島2439-1
☎055-278-5670



●総合診療（一般内科）

生活習慣病（高血圧・糖尿病・高脂血症）、急な病気やけが、健康診断、職場健診、禁煙外来、予防接種

●ペインクリニック ー痛みの総合的診療ー

带状疱疹（後神経痛）、頭痛、肩こり、顔面痛、首の痛み、椎間板ヘルニア、がん性疼痛、鞭打ち損傷、顔面神経麻痺、突発難聴など

●在宅医療

寝たきり又は、寝たきりに準じた方の訪問診療（訪問看護）

●漢方医学 ー漢方医学的診断に基づく保険診療ー

易疲労、食思不振、便秘、下痢、冷え、頭痛、めまい、肥満症、神経性胃炎、慢性疲労症候群、過敏性腸症候群、更年期障害、アトピー性皮膚炎など

●緩和医療 ーホスピスケアー

症状コントロール、家族も含めた心のケア、療養についての相談

●入院 ー緩和ケア（ホスピス）医療のできる入院施設ー

自噴温泉、特殊浴槽、ゆったりとした病室、自然の中で暮らせる環境

●訪問リハビリテーション

自宅を訪問し、その人の環境に合わせたリハビリテーション

診療時間

| 一般外来 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---------|---|---|---|---|---|---|
| 午前9時～正午 | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ |
| 午後3時～6時 | △ | ○ | △ | △ | ○ | △ |

玉穂訪問看護ステーション

〒409-3815 山梨県中央市成島2439-2
☎055-240-3366



●看護・医療処置

定期的な病状観察（体温・脈拍・呼吸数・血圧測定）、注射・点滴・採血などの処置、服薬指導/管理、褥瘡予防/処置、排便コントロール、各種カテーテルの管理（胃ろう/膀胱留置カテーテルなど）、在宅酸素療法の管理、人工呼吸器の管理、機能訓練/口腔機能訓練、四肢の関節可動域運動、緩和ケア（精神的ケア/家族支援/看取り）など

●日常生活の援助

食事指導、清潔援助（口腔ケア、清拭、入浴介助、更衣など）、排泄援助

●介護の相談

日常生活全般における介護方法についての指導、保健・福祉サービスについての情報提供

交通案内

